

# フレキシブルにフィットするコンパクトな消防庁舎

— これからの出張所庁舎整備のモデルとなるグリッドシステム —

地域の日常に寄り添いつつ、これからの整備計画のモデルとなる消防庁舎です。

建替が迫られる状況のなか、いかに効率的に短工期に現地建替ができるのかがもちろん、次期計画の予算組みや工期設定などの計画がしやすくなり、次期設計工期を短縮することができるプロトタイプです。提案は、次の7つの理念で実現されます。



外観イメージ



- 1 堅牢で安心のシンボル**  
— 防災拠点として相応しい施設の考え方 —  
災害に強く堅牢でありながら、市民に親しみやすく、安心感を与える建築です。
- 2 消防活動の円滑化**  
— 出動動線と一般動線の区分等の考え方 —  
出動動線は東側に一般動線を平面的に明確に区分する。なるべくスムーズに車両が出動できるような車庫配置とし、まとまった訓練スペースを確保することで、消防活動を円滑にします。
- 3 コンパクトなボリューム**  
— 出動に伴う騒音対策など、周辺環境との調和に関する考え方 —  
周辺は福祉館、コミュニティセンターに囲まれているため周辺住宅地への騒音を考慮した建物配置、諸室配置とします。周辺に圧迫感をあたえず、外皮面積の極力小さなコンパクトなボリュームです。
- 4 多様な選択性**  
— 建物のデザインや緑化など、周辺環境・景観との調和に関する考え方 —  
規格化された躯体に対してアタッチメントされる仕上げ材にはローコストながらも多様な選択性をもたせることにより、周辺と調和させるデザインとします。
- 5 ゾーニングの明確化**  
— 24時間勤務体制としての職員の業務と生活の両面に配慮した施設の考え方 —  
業務スペース、生活スペースともに通風・採光・騒音に配慮すると同時に機能的連携を考慮した明確なゾーニングとし、来庁者の有無に関わらず、消防・救急職員の緊急出動時のスムーズな動線を確保します。上下移動・水平移動が最小となる、動線の短いコンパクトな計画です。
- 6 建物全体が訓練の場になる**  
— 訓練および体力錬成を行うことができる施設の考え方 —  
消防職員の方の日常の訓練の風景は、市民に安心感を与えます。道路に対し、わかりやすい位置に車庫・多目的室(訓練室)を配置し、訓練の様子を表出させるとともに、屋上までつながる外階段も設置します。屋上や車庫内などを含め、建物全体が訓練の場となる計画です。
- 7 グリッドシステム**  
— 維持管理にかかる費用や将来的な施設のあり方を十分に考慮したエネルギー計画及び施設計画 —  
均等スパン、バランスの良い構造計画により、コストを抑えながら高い耐震性を実現します。消防庁舎特有の運営形態を踏まえ、維持管理にかかる費用を抑え、業務を中断させることなく更新し続けることが可能なシステムです。屋上や車庫内などを含め、建物全体が訓練の場となる計画です。

## 今後建て替える必要がある消防署に転用できるシステム

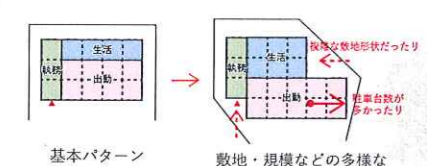
今回の2箇所の移転、建て替えを含め小田原市内の消防署の建て替えで汎用性のあるシステムが作れないかと考えました。今回はそのシステムをそれぞれの敷地に配置したときどのように変化し適応していくことが可能かを提示いたします。



システム原型 敷地に配置 敷地形状やコンテクストに合わせて変形

規模や敷地形状にも対応可能: ③・④・⑤

今回提案する消防署と規模が異なっても対応が可能です。大きく分けた3つのボリューム「出動・執務・生活」のそれぞれのボリュームを拡張、縮小させて対応していくことが可能です。また3つの組み合わせにより接道条件の違いなど敷地の条件によって配置を変えることも可能です。



基本パターン 敷地・規模などの多様な条件に対応

防災拠点としての施設の考え方: ①・②・③

岡本出張所庁舎は、隣に「おかもと福祉館」向かいには「岡本コミュニティセンター」と市民が集まる施設の中央に位置しています。日常的な訓練が見えることで安心感を与え、防災講義などをこれらの施設と連携して行うことで多くの年齢層に向けて発信することが可能となります。また岡の上に位置することから市民の安全を見守る役割を果たし安心感を与える施設を目指します。

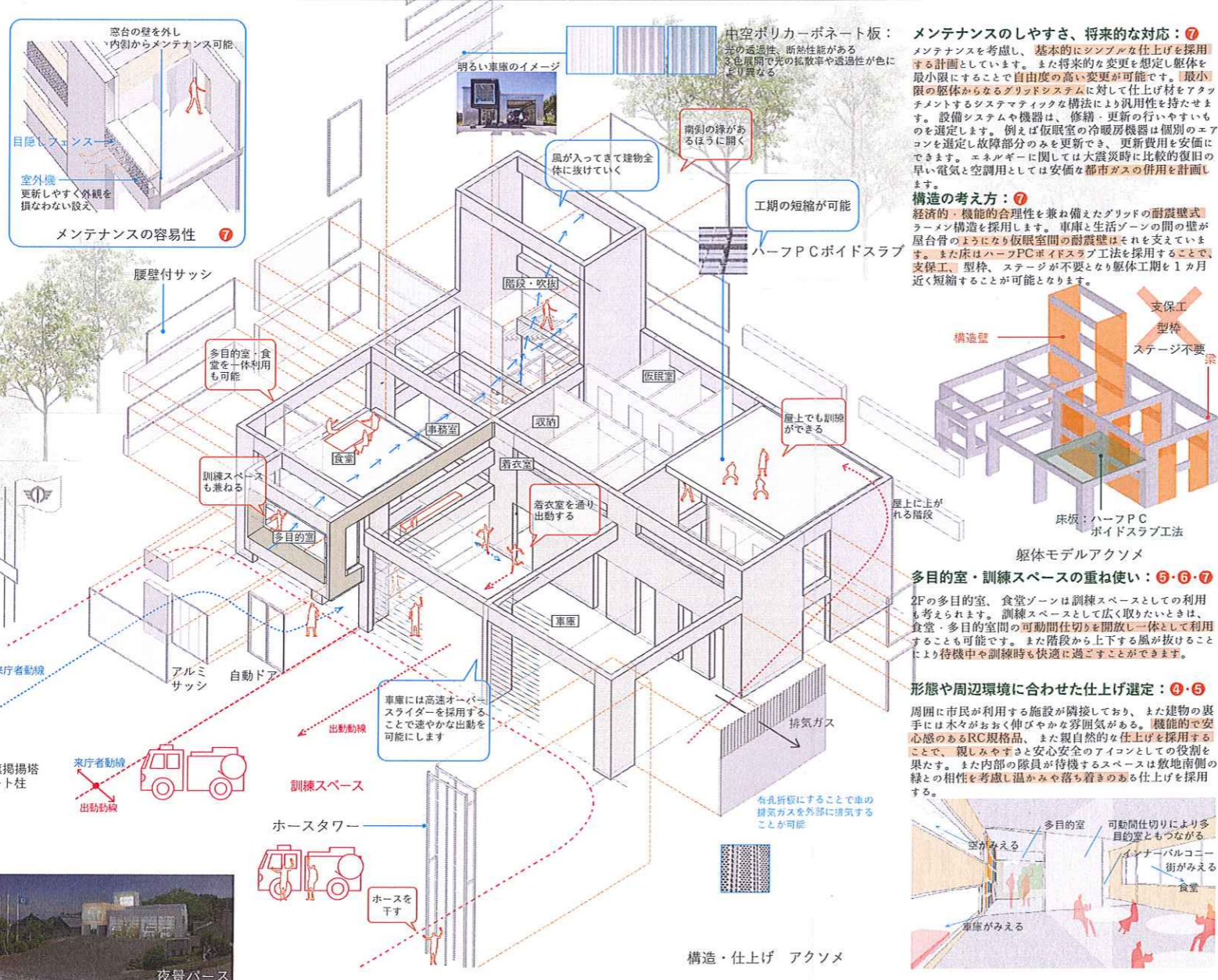


動線計画・ゾーニング: ②・③

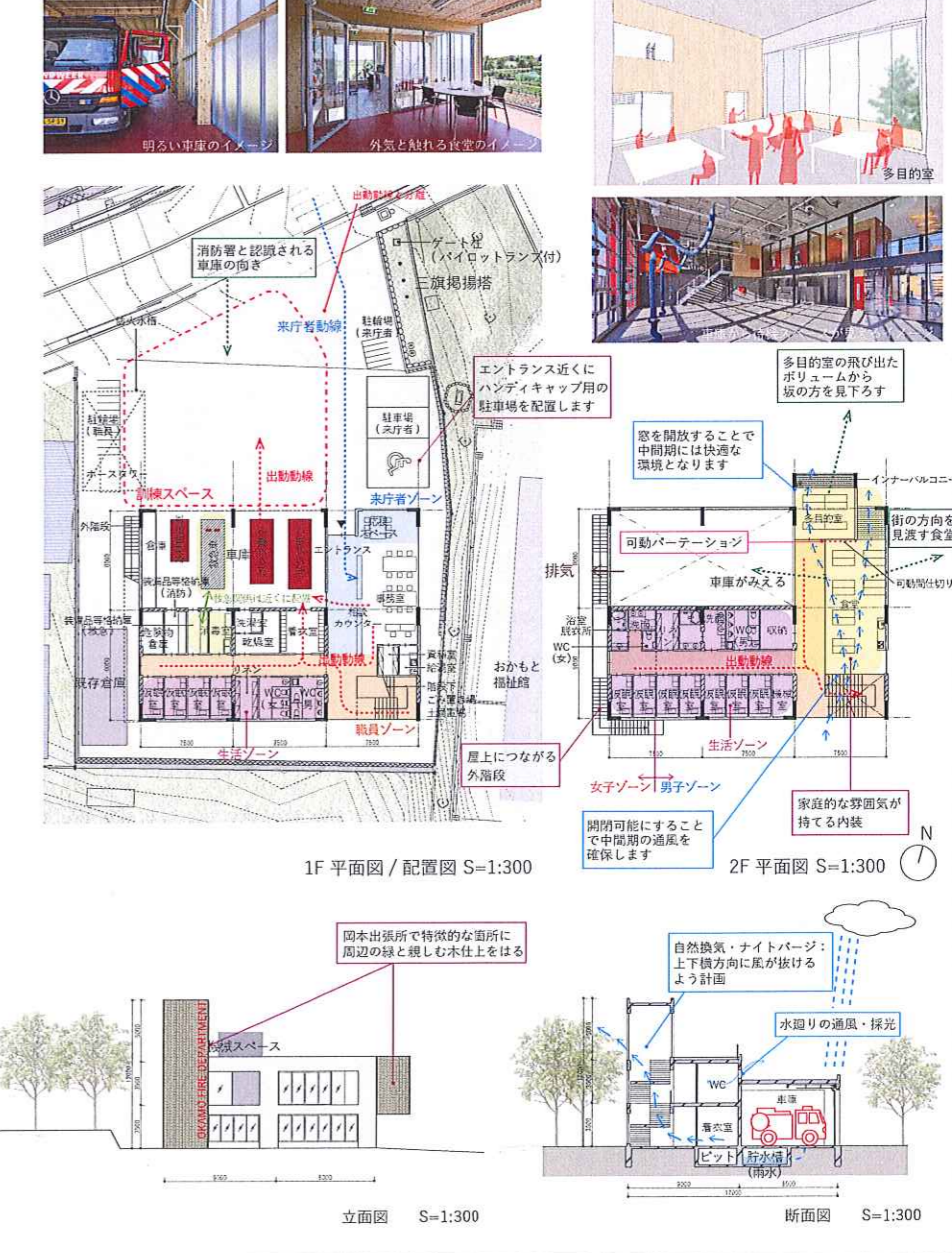
敷地に対して1Fでは事務室、2Fでは食堂、多目的室を東側の「おかもと福祉館」側にまとめて配置しています。車庫を反対側に配置することで出動時などの音へ配慮するとともに、来庁者の動線が最短になるよう計画します。内部空間でも来庁者ゾーンをエントランス付近にまとめることで出動動線と交錯しないよう配慮しています。またエントランスから車庫側の活動が感じられ、エントランス側により光が入るよう間の壁仕上げを半透明の素材などを検討しています。



相談カウンター 夜景パース



構造・仕上げ アクソメ



1F 平面図 / 配置図 S=1:300

2F 平面図 S=1:300

立面図 S=1:300

断面図 S=1:300